

一 般 質 問

平成28年6月16日（木）

7番 神 代 知 花 子 議 員

1. 障害者差別解消法制定に伴う石狩市の取り組みについて

- ①障害者差別解消法が制定された経緯や目的を、石狩市としてどのように捉えているか。市長部局、教育部局（教育現場）それぞれが、これまで蓄積してきた取り組みがある中、さらにどのように取り組んでいくのか具体的に伺う。
- ②石狩市における合理的配慮の提供が必要と思われる具体的事例を伺う（過去、現在問わず）。また、家を出られない不登校児、修学旅行など宿泊につきそいが必要な障がい児、自宅から出られない状況の方への選挙投票のための合理的配慮についてのお考えを伺う。
- ③法施行により、障がい者や困難を抱えた方への、行政職員、事業者、市民、三者の障がい理解が深まり、障がいを理由とした差別的扱いや、合理的配慮の不提供が解消されることが望ましく、そのためには市が中心となり、市民、事業者の合理的配慮の提供の支援を行うべきと考えられているか。
- ④石狩市における相談・紛争の解決の考え方と、障害者差別解消支援地域協議会の役割とはなにか伺う。先進的な他市の中には、法をより実行力のあるものとするため、市民参加の条例を制定しているところもあるが、手話条例を持つまち、石狩としてどうお考えか伺う。

2. 熊本県大震災の教訓をどう生かすかについて

大きな被害を受けた熊本県の被災地の中には、庁舎が崩れ自治体の指示系統が機能せず、住民が着の身着のまま倒壊していない近隣の福祉施設などに避難を求めた結果、さまざまなマニュアル通りにはいかない事態が起こったと報道されている。要支援者を適切な避難場所や介護、医療につなげない日が続くことで、体調を崩す高齢者や障がい者が増え、それとともに震災関連死も増加した。熊本の教訓を生かすため、マニュアルを実際の運用にできる限り適合するようさらに具体化する必要があると考える。

- ①一時収容避難所に来られない要支援者の確認や移動支援は誰がどのような指示で行うのか。
- ②一時収容避難所の福祉的スペースはどのような配慮がなされるのか。
- ③どの段階で誰が福祉避難所開設の判断を行い、どのように移送するのか。
- ④福祉避難所の数は足りているか。実際に避難所として運営することが可能か。
- ⑤各現場の状況を集約し、細やかな対応をとるための医療、介護、保健師、消防、民生委員など健康や避難生活の情報を集約するチーム体制が必要と考えるが、現状はどうか。

3. マイナンバーについて

- ①現在の個人番号カードの交付状況（トラブルを含む）について
- ②今年度のマイナンバーに関わる事業の進行度と予算、今後のスケジュールについて
- ③職員の個人番号の利用について
- ④職員のマイナンバー事業に伴う残業時間について
- ⑤個人番号とマイナンバーカードの独自利用について

16番 花田和彦 議員

1. 道の駅について

- ①今現在の道の駅の準備作業の進捗状況について
- ②厚田スポーツセンター解体について
- ③市民から出された懸念事項について

2. 空き家対策について

- ①今年度に策定を予定している「石狩市空家等対策計画」の内容について
- ②空き家の利活用や危険空き家の除却に対する補助制度の検討について

3. 樹木葬シャロームの森ハマナスについて

- ①計画の全体像について
- ②近隣住民への説明について

4. 石狩展望台について

- ①石狩展望台の再利活用について

5. ふるさと納税について

- ①近年における本市への寄附金額と他自治体に渡った金額、また今後の制度見直しを含めた考え方について

6. 本町地区への産業廃棄物不法投棄について

- ①本町地区への産業廃棄物不法投棄の実態と対応について、併せて今後の監視体制について

13番 上村賢 議員

1. 石狩市における自殺者の状況と対策について

- ①石狩市における自殺者の状況について、近年の自殺者数の推移・男女別・年齢別・職業別並びに原因・動機別の状況を伺う。
- ②石狩市の自殺者の状況に関して、全国の状況と比較して、石狩市の特有として読み取れる傾向はあるのか伺う。また、あるとすれば、その背後にある要因はどのように分析されているのか、石狩市の見解を伺う。

③平成28年3月30日に自殺対策基本法が改正され、4月1日から施行されたが、この改正法では、自殺対策の一層の推進を図るため自殺対策が生きることの包括的な支援として実施されるべきこと等を基本理念に明記するとともに、都道府県自殺対策計画及び市町村自殺対策計画の策定等について定めるほか、基本的施策を拡充し、自殺対策の推進につき必要な組織の整備を図る等の措置を講じようとするものである。そこで、石狩市は今後どのような取り組みを考えているのか伺う。

2. 道路・橋梁の路面下空洞化調査について

①石狩市には管理者が違う国道・道道・市道がある。それぞれの管理者が日常の道路パトロールにて道路、橋の状況調査等が行われ安全に努められているが、市は路面下や橋梁の空洞化の危険性についてどのような認識を持っているのか伺う。そして、路面下や橋梁の空洞化調査はどのように取り組まれているのか伺う。

②阪神淡路大震災での教訓を踏まえ、地震直後から発生する緊急輸送を円滑に行うため、緊急輸送道路が設定された。一般的に第1次～第3次まで設定されていると聞く。そこで、市内で緊急輸送道路に設定されている道路と、その道路の空洞化調査はどのように取り組まれているのか伺う。

3. 性的マイノリティについて

①性的マイノリティについて、社会の現状をどのようにとらえているのか市の認識を伺う。また、そのような方々への配慮はどのように行われているのか伺う。

②性的マイノリティにかかわる生活相談などがあった場合、相談の体制はどのようになっているのか伺う。また、これまでに相談事例があれば伺う。

③市民への理解を深めるため、啓発活動として行っている事があれば伺う。

④学校教育における、性同一障害や性的マイノリティへの配慮について伺う。

⑤小中学校で生徒から相談があった場合、どのような相談体制になっているのか伺う。

4. 道の駅の建築構造計画について

①計画によると、観光交流センター郷土資料室の機能を併せ持つ道の駅は、RC造での建築物と発表されているが、どのような議論がなされRC造を選択されたのか伺う。

②石狩市では、公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律に基づき、国の基本方針及び北海道地域材利用方針に則して、北海道内の森林から産出され、道内で加工された木材を「地域材」と定義し、石狩市の公共建築物における地域材の利用の促進に関する基本的な考え方を「石狩市地域材利用推進方針」にて定めているが、道の駅ではどの程度の木材を使用するのか考えを伺う。

1. 地域で取り組む「引きこもり」の社会復帰制度について

- ①市内における状況の把握と平均年齢の推移について
- ②支援策の実施状況と効果の認識について
- ③生活困窮者自立支援法施行を受けての取り組みについて

2. 残薬問題対策について

- ①市内における保険者の残薬状況と改善への取り組みについて
- ②門前薬局からかかりつけ薬局への考えについて
- ③かかりつけ薬剤師制度の活用推進について

3. 障害者差別解消法の施行を受けた取り組みについて

- ①行政機関への対応要領策定について
- ②事業分野・民間事業者向けのガイドラインの策定の推進について

4. 大規模災害と文化財の保護について

- ①市内における文化財の現状について
- ②日常における管理体制について
- ③保護の為の基金創設や登録の推進について

5. 福祉避難所について

- ①現状と救命人員の内訳について
- ②福祉避難所の運営実態について（食料等物資の確保・ライフラインの途絶・人的体制）
- ③福祉避難所運営に関する課題の対応について
 - イ 物資の備蓄とその仕組みについて
 - ロ 避難者の属性毎の課題について
 - ハ 支援人材を確保する仕組みについて
 - ニ 事前指定を受ける場合必要な事柄について

1. 石狩の保育について

- ①樽川地域の住宅増設に伴い見込まれる、待機児童も含め自然の中で五感を発達させる環境と保育理念と方針を持った市立の保育園の建設を求めるものですが、増設の考えはないかお伺いします。
- ②市民の暮らし、とりわけ若い人の不安定雇用が問題です。保育料の軽減を考えているかお伺いします。
- ③保育士さんの離職率が高いので、賃金・雇用の形の改善を求めます。

2. 消費税の増税中止について

- ①消費税が上がってからの市民の生活実態をどう受けとめているかお伺いします。
- ②消費税増税中止を国へアクションを起こす考えはありませんか。

3. 学校の耐震化の基準について

- ①文部科学省の指針どおりになっているのか伺います。

4. 高齢者の福祉利用割引券の増額について

- ①市の財政も10年前よりは改善したので、福祉利用割引券の増額を求めます。